



OVERSEAS

Socialist Republic of Viet Nam

— ベトナム社会主義共和国 —

海外事情



ハノイの四季



パンタ・ボジュ・ラジュ PANTHA Bhoj Raj

株式会社片平エンジニアリング・インターナショナル
開発業務本部/環境社会開発室/課長

ベトナム社会主義共和国

ベトナムは東南アジアのインドシナ半島の東側に位置し、タイランド湾、南シナ海、トンキン湾に面しています。南北に細長い国土で、南北は1,650km（釧路市～熊本市間）に及ぶのに対して、東西は最も狭いところで50kmしかありません。国境線の長さは4,616km、北に中国、西にラオス、南西にカンボジアとそれぞれ接します。

国土面積は331,210km²（陸地

310,070km²、水面21,140km²）で日本の北海道、本州、四国を足した面積と同程度です。北部と南部の地形は低地と平野からなり、中部は高地、最北部や北西部には山岳地帯があります。最高峰は標高3,144mのファイシパン山です。北部の気候には四季がありますが、南部は年中27℃程度の温暖な気候で、雨季と乾季の二季です。

人口は約9,600万人で、人口増加も著しく、近い将来日本の人口を追い抜くかもしれません。

1975年に南北が統一されるまで、

北の共産主義のベトナム民主共和国と、南のアメリカ合衆国が支援する資本主義のベトナム共和国が対立し、ベトナム戦争で激しく戦いましたが、統一で共産主義の国となりました。共産主義国ですが、市場経済システムの導入と対外開放を進めるとともに、周辺国との友好関係の拡大につとめており、日本とも良好な外交関係を築いています。1998年にはAPECに正式加盟し、2017年11月にはAPEC会議を中部の都市ダナンで開催しました。

首都ハノイ

ベトナムの首都であるハノイ市は、南部のホーチミン市に次ぐ第二の規模の都市で、紅河の右岸に位置します。面積は3,345km²、標高は



写真1 ライトアップされたホアンキエム湖



図1 ベトナム全図

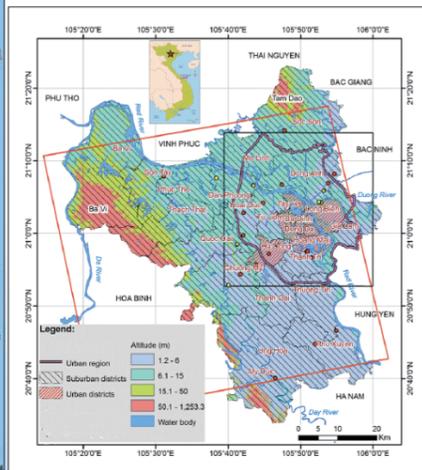


図2 ハノイ市図



写真2、3 テトを彩る花々



写真4 テトで着るハレの衣装



写真5 春の祭り



写真6 テトのごちそう

5～20mで、高低差のあまりない平地に広がる都市です。ハノイは12都市部、1市と17農村部から構成されています。ベトナムで最も成長著しい大都市の一つで、都市化が進んでいます。そのあおりを受けて、ハノイ郊外も無秩序に開発され、スプロール現象が進んでいます。

ハノイは低い土地に広がる都市であるため、多くの湖沼があり、その周りに遊歩道や公園が整備されています。中でもホアンキエム湖と西湖は市の中心部にあるため、人気のランドマークとなっています。ホアンキエム湖の周辺は夜間にライトアップが施され、夜遅くまで人通りが絶えません。湖に浮かぶ島には歴史ある寺院があり、小さな人道橋で結ばれています。ハノイの四季についてご紹介しましょう。



写真7、8 テトのイルミネーション

ハノイの春(2月中旬～3月)

ハノイの春は短く、1月下旬から2月初旬頃に始まり、3月には終わってしまいます。ハノイで春を迎えることは、旧暦の新年を迎えることを意味します。他の地域も同様ですが、人々は旧正月であるテトを待ち望んでいます。テトはベトナムで最も長い休みであり、祭日です。テト期間中のハノイは、普段の騒々しさとは打って変わって、静かで平穏に包まれます。なぜなら、人々は家族や親戚と新年を祝うため、出身地に帰省している

からです。それでも、通りや家々は、お祝いの花やカラフルな電飾で彩られていて華やかです。

春は暖かく、しっとりと小雨が降ります。草木が芽吹き、花がほころぶ季節でもあります。ニャットン地域の桃の木はテトを祝う花として、ハノイで最も人気があります。道路上に並べて売られる桃の木には長い列ができます。他にもバラ、グラジオラス、スイセンなどが美しいです。



写真9 夏の祭り

写真10 夏の花

ハノイの夏(4月~8月)

ハノイの夏は4月中旬から始まり、8月の終わりまで続きます。気温は30℃を超えて暑く、湿度も90%を超えます。7月の気温が最も高く、時には40℃を超えることもあります。激しい雨が降ることも特徴で、湿度をより高くします。様々な大きさの湖沼が至る所にあることからわかるように、地下水位が比較的高く、大雨の後は多くの道路が冠水してしまいます。2008年には豪雨によるひどい水害が発生しました。昨今は排水施設が整備され、この状況は改善しつつありますが、それでもまだ、水浸しの道路を通行することを余儀なくされることがあります。

湿度の高い不快な気候は、市民や旅行者にとって辛い季節に思われますが、色とりどりの花が咲き乱れる季節でもあります。4月には白ニワシロユリ、5月には真っ赤な火炎樹や紫のバンランの花、6月には西湖のハスの花が人々を魅了し、思わず写真を撮らずにはられません。グレープフルーツ、ライチ、マンゴー、スイカやパイナップルといった多種多様なフルーツが実る時期でもあります。

ハノイの蒸し暑さを逃れるため、人々は夕方から夜更けまで、開放的な路上の飲み屋「ビアホイ」で飲み明かします。旧市街の路上の屋台



写真11 ハスの花

写真12 路上の屋台で飲み明かす(ビアホイ)



写真13 旧市街でベトナムの若者と外国人と一緒にビアホイで飲んで国際交流

で、外国人もベトナムの若者と一緒になってビールを空けるのが、ハノイスタイルです。

ハノイの秋(9月~11月)

ハノイ市は市内の緑化に熱心で、沿道、中央分離帯、公園に至るまで、花や木々を植えて管理しています。そうした植物が色なす秋は最も美しい季節です。涼しく、からっとして晴れ渡り、清々としています。秋

の始まりを感じさせるのは、涼しい夜に通りに漂う、ラテン語でミルクの木を意味する *alstonia scholaris* と呼ばれるジタノキの香りです。9月から11月の寒くなる時期まで続きます。外出の際には薄手のコートかカーディガンが必要な季節です。秋は黄色や赤色に色づいた木の葉が道路沿いを彩り、空はより一層青く晴れ渡り、湖沼の水は緑深く、本当にロマンチックでのどかです。ジタノキのミ



写真14 ジタノキ(ミルクの木)



写真15 秋の紅葉



写真16 秋と言えばデイズ

ルクの香りも素晴らしいですが、デイズは秋を代表する香りの花です。青い餅米を炒ったコムも、ハノイの秋を告げる特別な香りの食べ物です。

また、盛大な中秋節のお祝いの時期でもあります。中秋節はベトナムの年中行事の中でも、最も大きなお祝いの一つで、旧暦の8月15日に行われます。その前の1ヶ月ほどは月餅を売る簡易店舗が至る所に作られ、競うように売られます。



写真17 中秋節のお祝い



写真18 ハノイの秋

ハノイの冬(12月~2月中旬)

ハノイの冬は12月から始まり、2月まで続きます。気温は15~17℃ですが、時には10℃を下回ることもあります。雪が降ることはありませんが、肌寒く、体の芯まで冷えるような寒さです。

冬空は暗く陰気なため、気分も晴れません。それでも、街は最も忙しい時期で、通りはいつもより混み合っています。テトの前に残された仕事を終わらせるために、そしてテトの準備のために、人々は大わらわなのです。寒い季節だからこそ、ハノイに住む人や訪れる人にとって、温かい鍋や焼き物をより美味しくしてくれるという面もあります。ハノイの人は鍋や焼き肉が大好きで、繁盛しています。

<参考資料>

1) <http://hanoi.gov.vn>



写真19 ハノイの秋のごちそう



写真19 ハノイの秋のごちそう



写真20 ハノイ周辺のマスタードフラワー



写真21 冬のハノイ



写真22 旧正月前夜



写真23 ハノイの冬の味覚(鍋)